

# 静岡大学

Department of Advanced Practice in School Education

# 教職大学院

# 案内

静岡大学大学院

教育学研究科

教育実践高度化専攻

# 2022



静岡大学  
Shizuoka University



子どもがスターになる、学校がステキになる。

教室にいる子どもたち。  
色々な個性を持っています。

変わった生き物が好きな子、  
大人よりもメカに詳しい子、  
次々に「なぜ？」を投げかける子、  
何にでも感心してしまう子、  
休み時間に真っ先に校庭へ飛び出す子、  
自分の考えに自信を持ってない子、  
声の大きな子、  
黙々と辞典を読んでいる子、  
洋楽ばかり聞いている子、  
何かを「変えたい」と思っている子…。

先生は子どもたちの姿をみとり、  
その個性を最大限に引き出し、  
子どもたちは互いを尊重し合うこと  
が出来れば、  
学校ではいつも誰かが輝けます。  
子どもたちがスターになる学校は  
ステキです。  
子どもたちと共に成長できる学校も  
ステキです。  
ステキな学校でステキな先生になり  
ましょう。





## 高度な教育的実践力を身につけた教員を目指して

静岡大学大学院教育学研究科は、令和2年度から修士課程を教職大学院に一本化し、教育実践高度化専攻（教職大学院）と共同教科開発学専攻（博士課程）の2専攻に改組されました。

教職大学院は、学校や地域の教育リーダーとして活躍できる高度な専門的職業人としての教員の養成を目的として、教育に対する使命感や倫理観等の教育的素養を高めるとともに、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系の構築に取り組み、「授業力」「生徒指導・支援力」「教育課題対応力」「学校改善リーダーシップ」の4つの資質・能力に基づく高度な実践的指導力を育成します。

教職大学院には、教育実践開発コース（現職院生）、学校組織開発コース（現職院生）、教育実践力育成コース（学卒院生）の3コースがあり、学校組織開発コースには「学校組織」の1分野が、教育実践開発コースと教育実践力育成コースにはこれまでなかった「教科教育」「幼児教育」「養護教育」「現代的教育課題」の各分野を含めて7分野が設置されています。カリキュラムは、理論と実践の往還を意識した「共通科目」「実習科目」「分野科目」「課題研究」で編成され、現職院生と学卒院生が共に学びあう協働的な学びを保障しています。また、中・高等学校免許取得者が小学校免許を取得することができる小学校免許取得プログラム（履修年限3年）、静岡県・静岡市・浜松市教員採用試験合格者に採用の猶予が与えられる特例措置等、多様な学びに対応する履修制度も充実しています。

共同教科開発学専攻は、愛知教育大学との共同による博士課程であり、平成24年度からスタートしてこれまでに教職に関わる多くの大学研究者を輩出してきました。教科専門・教科教育・教職専門の枠を超えて、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑・多様化した諸課題に対応した研究を遂行することを目指した「教科開発学」という新たな学問領域に基づいてカリキュラムが編成されています。原則として土日や夏季・冬季休業中に授業が行われ、働きながら学ぶことができる環境を整えています。

静岡大学大学院教育学研究科は、高度な実践的指導力を身につけたい、より深い学びを追究したい、と考えているみなさんをお待ちしています。

教育学研究科長 熊倉 啓之

# 教職大学院の「求める学生像」

## 1 ディプロマポリシー

学校や地域の教育リーダーとして活躍できる高度な専門的職業人としての教員の養成を目的として、教育に対する使命感や倫理観等の教育的素養を高めるとともに、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系の構築に取り組み、教科の専門性や学習理論等に基づく授業力、教育心理学や臨床心理学等を踏まえた子ども理解に基づく生徒指導・支援力、現代的な教育課題に対応する教育課題対応力、学級や学校組織の協働化・活性化を図る学校改善リーダーシップに基づく高度な実践的指導力を身につけている者に教職修士（専門職）の学位を授与する。

## 2 カリキュラムポリシー

教育活動に積極的に取り組み、将来的に様々な教育分野でリーダー的役割を担うことのできる新人・若手教員、及び専門研修リーダーなど学校や地域の教育リーダーとして活躍できる高度な実践的指導力を備えた中核的な中堅教員の養成を目的として設計されたカリキュラムに基づいて、下記の科目区分のもと合計 46 単位以上を履修する。

- 1 教育に対する使命感・倫理観の教育的素養を高めるとともに、授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力、学校改善リーダーシップの資質・能力に関わる最新の教育動向等についての理解を深め、基盤的学力を身につけることを目指す「共通科目」（9科目18単位）
2. 授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力、学校改善リーダーシップのいずれかに関わる専門分野に重点をおいて学びを深め、高度な実践的指導力を育成・向上することを目指す「分野科目」（7科目14単位以上）
3. 個人が分野に関わる問題関心に基づいた教育課題を設定し探究することを目指す「課題研究」（2科目4単位）
4. 「理論と実践の往還」を強く意識して「共通科目」、「分野科目」、「課題研究」での学びと連動させながら、高度な実践的指導力をより一層高めるとともに、専門分野に関わるリーダーとして活躍できる教員の養成をねらいとする「実習科目」（3科目10単位）

その上で、各分野に関わる実践的研究に専任教員の支援を受けて取り組み、その成果を報告書の形で提出する。

## 3 アドミッションポリシー

学部卒等大学院生については、「教員としての基礎的・基本的な資質能力を身につけていることに加え、他者と協働する力を備えていること」を、一定の教職経験を有し修了後に中核的中堅教員として活躍が期待できる現職大学院生については、「本専攻で学習する目的とねらいが明確であり、豊かな教科指導・生徒指導の実践経験を有していること」を求めています。また、学部卒等大学院生・現職大学院生双方に共通して、授業力、生徒指導力、教育課題対応力や学校改善リーダーシップの基礎となる理論と実践を往還させて、教育課題・組織課題を解決していく高度な実践的指導力を育成・向上したい人を求めています。

# 教育学研究科の組織図

## 教育実践高度化専攻（教職大学院）

コース名	分野	募集人員	
教育実践力育成コース	教育方法	学卒院生・ストレイトマスター	
	教科教育		
	生徒発達支援		
	特別支援教育		
	幼児教育		
	養護教育		
	現代的教育課題		
学校組織開発コース	学校組織	45名	
教育実践開発コース	教育方法		現職院生
	教科教育		
	生徒発達支援		
	特別支援教育		
	幼児教育		
	養護教育		
	現代的教育課題		

## 共同教科開発学専攻（後期3年博士課程）

分野	募集人員
教育環境学分野	8名 (各大学4名)
人文社会系教科学分野	
自然系教科学分野	
創造系教科学分野	

# 学校組織

## 分野の概略

学校組織開発コースは、新たな社会のあり方を見据え、それに対応できるように以下の三つの力量を高めることを通して、学校を実際に変革していくことのできるリーダーの育成を目的としています。

①**学校改善に関する知識理解** 教育法規・政策と社会動向、リーダーシップ論等の公教育の今日的状況に関連する基礎知識の理解

②**ビジョン形成力** 学校(地域)の目指すべき将来ビジョンを描き、それに向けて計画を組織的に策定する力

③**改革のスピリット** 広く可能性を探ったうえで前例踏襲主義と決別して、他の教職員や関係者を巻き込んで自らの行動に移していくマインド

この目的のため、全てのコース教育活動は相互に関連づけながら、体系的に配置されています。学校組織開発コースでは分野が細分化されておらず、また必修科目が多く設定されていますが、これは科目間のヨコのつながりを保障し、同時にコースに所属する大学院生相互の学びを促進するためです(修了要件の枠外で他コースの科目を選択することは可能)。

大学院在学中から実際に学校現場の組織的改善にチャレンジしながら、実践的に学ぶのがこのコースの特徴です。

## 教員と専門分野

梅澤 収	教育学・子ども学☆
武井 敦史	学校組織・リーダーシップ論
島田 桂吾	教育行政学・幼児教育政策
渋谷かさね	生涯学習・成人教育
小岱 和代	学校経営・特別支援教育
吉澤 勝治	教育政策・教員研修

☆令和4年3月退職

## 主な授業科目

教育政策の流れと学校論

教育法制度の理論と実際

学校改革の理論とリーダーシップ

成人の学習の事例と理論

学校と地域の協働

夢の学校づくり・学校改善への実践論

## 探究テーマ例

- ・新しい学力(汎用的能力)の育成と教科横断的な視点に立つカリキュラム・マネジメントの開発
- ・グローバル規模の産業構造変化に対応するキャリア教育とそれを支える学校組織のあり方
- ・コミュニティスクールの仕組みや民間の教育資源等を活用した学校と地域の連携・協働の推進と持続可能な地域社会の構築
- ・保・幼・小・中の学校段階を超えた一貫したカリキュラムづくりとそれを支える組織間連携のあり方
- ・教員育成指標を踏まえた教員の成長支援と教員の新しいキャリアモデルの構築
- ・予測の困難な変動社会(VUCA)におけるキャリア形成と大学入試改革の動向を踏まえた高校教育改革

# 教育方法

## 分野の概略

本分野は、これまでに現職派遣院生（静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会からの派遣）と学部卒院生90名（うち学部卒修了生30名）が修了し、修了生は県内外の小中高等学校、教育機関で活躍しています。本分野の人材育成の大きな目標は、単元レベルの授業研究を率先して行える授業力量を修得し、授業改善に貢献できるニューリーダー及びミドルリーダーを育成することにあります。学部卒院生及び現職派遣院生とともに、授業技術、授業分析、校内研修への参加を通して、実践的かつ学習科学、教育方法的な視点等から専門的に学びます。小中高等学校全ての校種に対応しているとともに学習指導要領に即したアクティブラーニング（主体的・対話的・深い学び）の視点、教科横断的なカリキュラム開発等（カリキュラムマネジメント）の方法論を通して、新たな学力観である資質・能力を育成する授業デザインの原理・原則について深めます。これまでも静岡大学のみならず、他大学の教育学部、文学部、理学部等からの進学実績があります。

## 教員と専門分野

村山 功	認知心理学
石上 靖芳	教育方法学・教師教育学
町 岳	教育心理学
川崎 美保	学習科学
落合 宣昌	教育実践学

## 主な授業科目

### ○分野必修科目

- 校内授業研究の応用と評価
- 資質・能力を育む授業デザインの開発
- 授業と学習のメカニズム

### ○自由選択科目

- マイクロティーチングによる授業実践演習Ⅰ（学卒対象）
- マイクロティーチングによる授業実践演習Ⅱ（学卒対象）
- 学校研究コンサルテーションⅠ（現職対象）
- 学校研究コンサルテーションⅡ（現職対象）
- 教育実践の開発と評価

## 探究テーマ例

### ○学部卒院生

- ・教職大学院実習における授業実践と省察との往還による授業力量向上に関する研究－小学校算数科の単元開発とその評価を通して－
- ・初任者教師の省察を基軸とした授業力量形成過程の研究－小学校国語科の単元開発と実践の取り組みを通して－
- ・理科を学ぶ意義の実感を目指した授業の効果－中学校・高等学校での授業実践を通して－

### ○現職院生

- ・資質・能力でつなぐ教科・総合連携型単元デザインの開発－小学校国語科と総合的な学習の時間の実践を通して－
- ・中学校社会科における歴史的思考力の育成に関する研究－歴史的な見方・考え方を働かせる単元開発と評価－
- ・中学校理科における科学的な思考力育成に関する研究－思考スキルを位置付けた「恐竜の復元」の単元開発を通して－

# 教科教育

## 分野の概略

教科教育分野では、主に中等教育教員を目指す学生を対象として、教科の専門性の深い理解と実践に基づく授業力を育成することを目標としています。教科の授業力として、具体的には次の資質・能力を身に付けることを目指し、カリキュラムを設定しています。

- ア 教科内容に関する専門的知識・技能や思考力・判断力・表現力等
- イ 教科の専門性を踏まえた教材開発力、授業構成力等
- ウ 教科内容の概念理解やつまずきに関する子ども理解力等

## 主な授業科目

必修科目が3科目、選択科目が4科目あり、授業科目名は次の通りです。

### ○分野必修科目

教科横断的教育課程論

教科学習論(領域名)※人文系、自然系、創造系

教材開発論(教科名)※国、社、数、理、音、美、保体、技、家、英

### ○自由選択科目

教科内容論(教科名)

教科指導論(教科名)

教科内容演習 A・B(教科名)

教科教育専門研究 A・B(教科名)



上記のうち、特徴的な授業科目の概略を次に示します。

### 【教科横断的教育課程論】

10教科の教員とそれを統括する教員がオムニバス形式で行う授業で、自分の教科のみならず、他教科で育成する資質能力について理解を深め、教科横断的な視点に基づく教科指導力を身に付けます。

### 【教科学習論】

10教科を人文系(国語、社会、英語)、自然系(数学、理科、技術、家庭)、創造系(音楽、美術、保健体育)の3領域に分けて領域ごとに行う授業で、それぞれの領域固有の子どもをつまずきとその要因について理解を深めます。

### 【教材開発論】

教科ごとに行う授業で、つまずきを克服したり、興味・関心を持たせたりする教材の開発力を身に付けます。

### 【教科教育専門研究 A・B】

教科ごとに行う授業で、教科内容から関心のあるトピックを選んで、教科内容に関する幅広い知識と教材研究を深めていく資質能力を身に付け、教科の専門性を高めます。



# 教科教育 国語

## 分野の概略

教科教育学分野(国語教育)では、主に小中学校、高等学校で国語教育に携わることになる院生を対象に、教科の専門性に対する深い理解と実践的な授業力を育成します。

教科教育では国語教育学として教材研究や授業研究に取り組み、教科の内容に関しては、国語学・国文学・漢文学・書道の各分野における専門的な知識や技能を幅広く学びます。国語を教科教育と教科専門との両側面から捉えて学びを深めることを通して、国語に関する確かな理解と実践力の向上を達成します。

学部段階で国語に関する基礎的・基本的な資質・能力を習得した院生には、より実践的な指導力や授業展開能力を身につけることができるよう、また教職経験のある院生には、地域や学校における教科の指導の中核的な役割を果たし得る確かな指導理論と授業展開の方法を習得できるような授業を提供しています。

## 教員と専門分野

江口 尚純	漢文学・中国古典学
大塚 浩	国語教育学
坂口 京子	国語教育学
杉崎 哲子	書写・書道教育、国語教育(文字指導)
中村ともえ	日本近現代文学
深津 周太	日本語学・日本語史

## 探究テーマ例

- ・小中高等学校国語科における教材研究と授業研究
- ・国語教科書における文学教材の歴史的研究
- ・文法および語彙指導の探究
- ・国語科の授業におけるICT化時代の板書および書字活動

# 教科教育 社会

## 分野の概略

社会科の授業を行ううえで特に必要となるのは、社会科の学問体系・研究方法に関する知識をはじめとした教科内容についての本質的な見方・考え方(教科力)と、単元構想力・教材開発力・授業実践力をはじめとした教科指導に関わる知識・能力(教科指導力)です。社会科教育分野では、まず、指導教員との相談の上、研究課題を自身で決めます。そして、先行研究と最新の研究動向を踏まえた研究を各自で行い、実習での実践を踏まえながら、その成果を課題研究報告書として発表します。こうした研究活動による教科力と教科指導力の発展が、社会科教育分野で学ぶ人の目標となります。社会科に関連する様々な学問や社会科の指導法を学部以上により深く学習することを通して、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系を構築することができるとともに、社会科の専門性や学習理論等に基づく授業力を獲得できるでしょう。

## 教員と専門分野

矢野 敬一	宗教民俗学
西野 肇	経済学
伊藤 宏二	外国史
中條 暁仁	社会地理学
米原 優	哲学・倫理学
佐藤 正志	経済地理学
村井 大介	教育学(社会科教育)・教育社会学

## 探究テーマ例

- ・社会科における子どもの資質・能力の育成の方法
- ・社会科における教科観の創造
- ・社会科におけるカリキュラムの内容構成の原理
- ・社会科における社会的見方・考え方の形成を目指す単元の開発
- ・社会科における人文・社会科学的アプローチに基づく学習の導入
- ・市民的資質の育成を目指す教育における社会科授業のモデル化
- ・高等学校の地理歴史科・公民科における専門性を踏まえた教育内容・指導方法に関する研究

# 教科教育 数学

## 分野の概略

初等教育(算数科)並びに中等教育(数学科)の授業では、数、方程式、関数、図形、確率・統計、微分・積分、ベクトルなど、さまざまな数学的概念を指導しています。このような概念を教室で学ぶ児童・生徒の「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性」を育成する授業とはどのようなものでしょうか。

教科教育分野(数学)では、生きる力を育む数学教育の探究をするとともに、高度な実践的指導力を身につけることを目指しています。数学教育についての先行研究や実践例を調べ、また、数学の専門的知識についての理解を高めつつ、課題研究のテーマを構想・設定し、高度化実習において理論と実践の往還をしながら、高度な実践的指導力を身につけ向上させていきます。

## 教員と専門分野

熊倉 啓之	数学教育
山田 耕三	幾何学
松元新一郎	数学教育
大和田智義	解析学
谷本 龍二	代数学
四之宮佳彦	幾何学

## 探究テーマ例

- ・生徒のつまずきを解消する2次関数の指導に関する研究
- ・小中高の連携を意識した関数の単元構想の工夫
- ・高等学校数学科におけるアクティブラーニングの導入
- ・数学に関連した理数探究課題の考案

# 教科教育 理科

## 分野の概略

教科教育分野の理科教育では、探究テーマを設定して、指導教員の指導の下でテーマを追究し、課題研究報告書としてまとめます。理科は、小学校～高校のいずれの校種においても、高い専門性が求められる教科です。理科の学習から芽生えた子どもの関心に対して、教員が科学的に適切に応え、その関心を高めるためには、教科書の内容よりも幅広く深い知識と実験・観察技術をもち、理科ならではの指導法を高度に身につける必要があります。理科教育では、院生はそのようなスキルを高める教科教育・教科専門の探求テーマに取り組みます。探究テーマは、教科教育、教科専門のいずれにおいても、院生それぞれに適した内容を指導教員と相談して決定します。

## 教員と専門分野

小山 真人	火山学・歴史地震
丹沢 哲郎	理科教育学・生物教育学・アメリカ科学カリキュラム論
小南 陽亮	植物生態学
延原 尊美	古生物学・自然史
古賀 幹人	固体電子理論・磁性理論
郡司 賀透	理科教育学・化学教育論
本多 和仁	レーザー物理学・量子エレクトロニクス
雪田 聡	分子生物学・発生学
加藤 英明	系統分類学・進化学・保全生物学
内山 秀樹	X線天文学
山本 高広	理科教育学・生物教育学

## 探究テーマ例

- ・中学校理科における Society5.0 に応える理科授業の理論と実践に関する研究
- ・高等学校理科における主体的な学び、対話的な学び、深い学びが創生される指導モデルに関する研究
- ・理科指導における小学校・中学校のつながりに関する包括的研究
- ・物理・化学・生物・地学と数学工学を包含した領域横断的な課題探究型学習の開発
- ・日本と諸外国の比較を基にした21世紀型資質・能力の比較と日本モデル創生

# 教科教育 音楽

## 分野の概略

音楽教育全般に関して広く研究し、初等中等音楽科教育に携わる教員を目指す学生を対象として、理論と技能の深い探求と獲得を基盤とした授業実践力の育成を目指します。また根幹を成す音楽教育学をもとに、西洋音楽に留まらず、我が国の伝統音楽を教材化し、日本音楽の実践論に関する研究もおこないます。声楽では、小学校、中学校の歌唱教材の研究を中心に楽曲分析をし、技術も養い、授業の進め方を実践的に学びます。作曲では、小学校や中学校で扱う「音楽づくり」に関する研究をおこない、合わせて自らの楽曲分析力や音楽創作力の向上を目指します。ピアノにおいては小学校、中学校の授業に支障がない伴奏法の技術を身につけることを目標とします。歌唱、創作、器楽を全般的に学ぶことで、理論と技能の両方をバランスよく研究します。

## 教員と専門分野

寶福 英樹	声楽(R.ヴァーグナーの楽劇・ドイツ歌曲)☆
長谷川 慎	音楽教育学(日本音楽)
長谷川慶岳	作曲・音楽理論
後藤友香理	ピアノ
服部 慶子	ピアノ・音楽教育学

☆令和4年3月退職

## 探究テーマ例

- ・音楽科における伝統文化の系統的な学びを実現する学習モデルの開発
- ・小学校の音楽科における歌唱教材を用いた効果的な授業の進め方
- ・小学校や中学校における「音楽づくり」に関する授業実践についての研究
- ・音楽科における「技能」についての研究
- ・音楽指導におけるコミュニケーションについての研究
- ・音楽科授業における学習としてのルーブリック活用

# 教科教育 美術

## 分野の概略

美術に対する社会的要求の変化と多様性の中で、学校教育・社会教育の観点に立って創造性や造形力や感性を陶冶する美術教育を追究することをめざします。その主な要点は、①学校教育及び社会教育の観点から、美術教育の内容と方法の一層の多様性と質を追究する、②平面や立体の総合的な造形制作において、新たな研究課題とその表現方法を追究する、③情報メディアに関し、時代のニーズに沿った造形制作の研究課題とその表現方法を追究する、④国際的なヴィジョンに立って、美術作品を鑑賞したり評価したりする能力や新たな造形創造や構想の能力を育成する、等です。理論と実践の統合を目指し、図工及び美術科教育の教育目標・教育内容の変遷について基本的な理解を身につけ、教科の主要な指導方法や主体的・対話的で深い学びを実現する指導方法を学び、新たな教材の開発を試みます。これを踏まえ、美術教育・美術理論及び造形制作を通して総合的力量を備えた美術指導者の育成をめざしています。

## 教員と専門分野

占部 史人	絵画
名倉 達了	彫刻
伊藤 文彦	デザイン
川原崎知洋	デザイン・工芸
大宮 康男	美術史・美術理論☆
芳賀 正之	美術科教育
高橋 智子	美術科教育

☆令和4年3月退職

## 探究テーマ例

- ・中学校美術科における表現及び鑑賞の題材開発に向けた基礎理論の研究
- ・高等学校美術科における創造力と省察力の育成を目指した指導に関する研究
- ・表現と鑑賞領域における美術・デザイン題材の開発及び研究
- ・表現と鑑賞の一体化を意識した題材開発及び指導内容に関する研究

# 教科教育 保健体育

## 分野の概略

保健体育科教育は、これまでの運動種目そのものが目的になっていた体育学習や健康や安全に関する要素的知識の伝達と行動変容が目的になっていた保健学習からの転換が求められています。そのため、保健体育教育分野では、運動ならびに健康や安全に関する科学的認識の発達を目指し、「体育や保健の見方・考え方」を鍛えていく体育授業・保健授業の構築に必要な専門性を身に付けるためのカリキュラムを設定しています。保健体育を教科として学ぶ意義を視座に、「教科の目的－内容－方法」の一貫性に留意して授業設計・授業実施・授業評価・授業改善のできる資質・能力を高めるための視点を学び、教科の本質にせまることを企図しています。

高度化実習では、課題研究のテーマに関連した授業実践なども含めて、理論と実践の往還による資質向上を目指します。

## 教員と専門分野

新保 淳	体育哲学
岡端 隆	運動学・器械運動
赤田 信一	保健科教育学・学校保健
野津 一浩	体育科教育・保健科教育
杉山 卓也	体育・スポーツ心理学

## 探究テーマ例

- ・体育科・保健体育科の教科カリキュラム編成の原理
- ・教科の目的にせまるための保健体育科の教科内容
- ・体育学習・保健学習における認識の形成
- ・体育や保健の見方・考え方を鍛える学習過程
- ・教科の系統における体育科・保健体育科の指導のあり方
- ・資質・能力の育成に向けた保健体育科の学習評価
- ・保健科教育における知識の構造化

# 教科教育 技術

## 分野の概略

技術教育(Technology Education)は、現代の高度に進歩した生産技術に対応する教育として、特に重要な位置にあります。技術の世界は幅広く、そこには奥が深く限らない学習が待っています。また、児童・生徒に、いかに理解しやすく指導するかを教授法の問題として研究することも必要です。

技術は、科学的に明らかになった法則や理論を活用し、社会に有用なものを生み出していくためにあります。教科教育分野(技術)では、技術を教育するための理論と学校教育に適した方法を探る実践の両方を研究していきます。そのため、教育カリキュラムは、工学や農学を基礎とした専門の内容に関する講義と講義から得た知識を基に実際に設計・製作を伴う教材の研究・開発を行う実践的な演習から成り立っています。研究成果を学会などで発表する研究活動を通じて、創造力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を備えた大学院生を育成します。

## 教員と専門分野

紅林 秀治	設計とシステムに関する技術教育と教材開発
室伏 春樹	技術教育学・情報教育学
鄭 基浩	木材加工に関する技術教育
松永 泰弘	機械に関する技術教育
改正 清広	電気に関する技術教育
藤井 道彦	生物育成に関する技術教育・農業教育・作物学

## 探究テーマ例

- ・中学校技術科における木材加工教育の方法および木質教材の開発に関する研究
- ・技術教育における教材設計と評価に関する研究
- ・数学・理科・技術の統合的な探究力の育成を重視した幼小中高大ものづくり教材の開発および指導に関する研究
- ・中学校技術科教材における理科・数学概念の転移に関する研究
- ・中学校技術科における多面的評価を重視した生物育成教材の開発に関する研究
- ・発達段階に応じたプログラミング教育の実現に向けた教科横断的教材の開発および指導に関する研究

# 教科教育 家庭科

## 分野の概略

家庭科教育分野では、主に家庭科の中等教育教員を目指す学生を対象として、教科の専門性を踏まえた教材開発力、授業構成力等を育成することを目標としています。具体的には、人間生活の基礎単位である家族・家庭を軸に、人の発達や福祉、家族関係、家庭経済・経営・管理の機構、生活の場で用いる衣・食・住などの「もの」と「人」との相互関係としての現象や技術、それらが作り出す環境について学び、授業の手立てと評価のあり方をふまえた家庭科の授業構成力を育成します。また、教育現場において追究したテーマについて、多様な専門的観点から教員と院生が議論や実践を通じて学びを深めていきます。

## 教員と専門分野

色川 卓男	家庭経営学・消費者教育
村上 陽子	食物・家庭科教育
冬木 春子	家族関係学・保育学
小清水貴子	家庭科教育学
竹下 温子	栄養学・予防医学

## 探究テーマ例

- ・SDGs時代をふまえた家庭科における消費者教育教材の開発と実践
- ・持続可能な社会の構築を目指した家庭科教材の開発と実践～教科横断的視点から～
- ・家庭科における家族・家庭生活に関する学習と性別役割分業意識との関連
- ・主体的・対話的な学びを促す家庭科の授業研究
- ・高校家庭科の生活科学に着目した教科横断型授業への教材研究

# 教科教育 英語

## 分野の概略

外国語の教授及び学習に関する国内外の文献の購読等を通じて、より複眼的に実践を捉え直すための理論的知識を深め、学習者の知識・技能、興味・関心等に合わせて、より質の高い授業づくりのできる指導技術を学修することを目指します。

課題研究においては、指導教員の指導のもと、学生の興味・関心に応じた探求テーマが設定でき、英語教育の現代的諸課題に加え、英語文学や英語学、異文化理解等の関連分野の発展的な知見を活かし、時代が求める英語指導上のテーマに取り組みながら、理論と実践の往還を行う。授業科目においては、英語に留まらず、文系分野を教科横断的に学修することにより、他分野からアイデアを得たり、オムニバス形式の授業により、英語文学や英語学の知見を学んだり、奥行きのある英語の授業を行える力量を身につけることをねらいとします。

## 教員と専門分野

白畑 知彦	英語教育学・応用言語学
矢野 淳	英語教育学・小学校英語教育
ピーター・クレメンツ	英語教育学・ライティング
森野 和弥	英語文学・アメリカ演劇
丸山 修	英語文学・英詩
河村 道彦	英語学・意味論

## 探究テーマ例

- ・意味や使用場面のつながりをより意識した言語材料の導入
- ・多様な言語体験を通じたより主体的・協働的な英語学習
- ・英語教育における小・中のより効果的な接続

# 生徒発達支援

## 分野の概略

子どもは様々な支援ニーズを持っており、学校では支援ニーズの高い生徒に対して心理的な支援だけでなく、キャリア教育も含めた学習支援も同時に行います。こうしたことから、日々成長していく子どもに対して様々な角度からの支援を提供できる人材が求められていると言えます。

本分野では、教育心理学や臨床心理学の観点から子どもを深く理解し、それに基づいて生徒指導、発達・学習支援等を遂行できる指導・支援力を育成していきます。

## 教員と専門分野

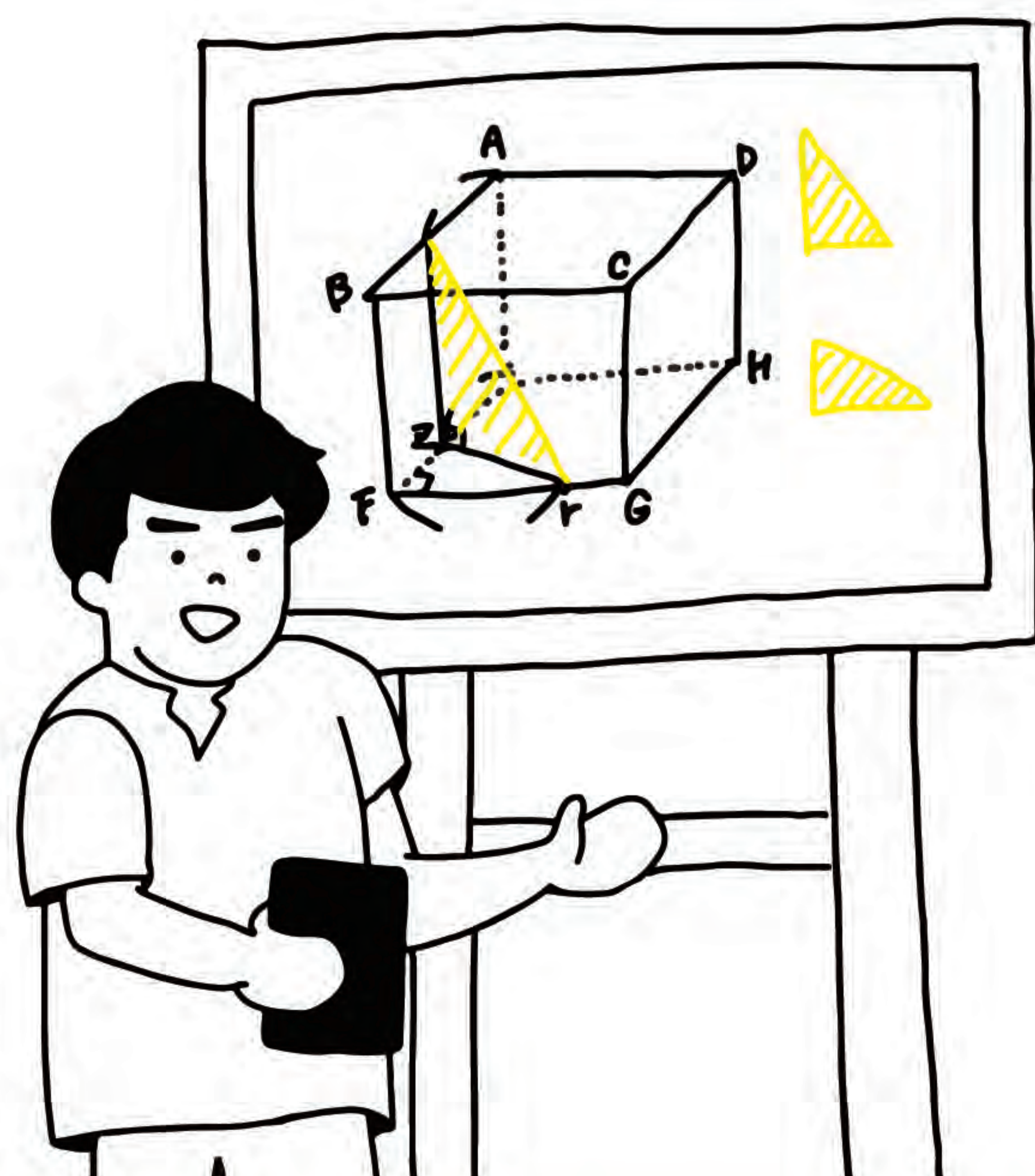
小林 敬一	教育心理学(教授学習)・社会心理学
小林 朋子	学校心理学・学校臨床心理学
古見 文一	発達心理学
伊藤 公介	生徒指導・教育相談
神田 景司	生徒指導・進路指導・学級・学年経営

## 主な授業科目

生徒発達支援概論  
 学校心理学の理論と方法  
 臨床心理学の理論と方法  
 発達心理学の理論と実際

## 探究テーマ例

- ・ いじめ防止のための予防教育と校内体制の構築に関する研究
- ・ 生徒が主体的に学習に取り組む態度を育てる方法の開発と評価
- ・ 園児の友人関係構築へのサポート方法に関する研究



# 特別支援教育

## 分野の概略

小・中学校には発達障害が疑われる児童生徒が6.5%在籍しているといわれています。また、2012年には中央教育審議会によって「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進」が提言されています。このような状況にあっ  
て、特別支援教育に対する教育界の期待はますます高まっており、専門性の高い教員の養成が求められています。

特別支援教育分野ではこの使命のもとに、現職院生においては特別支援教育に関する高度な知識・技能を備えるとともに、学校や地域において特別支援教育のリーダーとして活躍できる資質・能力の習得を目指します。学卒院生では障害の種類や程度に応じた子ども理解に基づく支援や指導等を遂行する指導・支援力を養成することを目指しています。

## 教員と専門分野

大塚 玲	発達障害学・特別支援教育システム論
香野 毅	障害児心理学・発達臨床実践
山元 薫	知的障害・教育課程・授業論・ユニバーサルデザイン
石川 慶和	病弱教育・障害児心理学

## 主な授業科目

発達障害の理解と対応  
 特別支援教育の現状と課題Ⅰ  
 ユニバーサルデザイン授業論  
 障害児の認知発達とその支援  
 発達臨床・特別支援の実践から学ぶ  
 特別支援教育の現状と課題Ⅱ  
 特別支援教育における授業デザイン

## 探究テーマ例

- ・ 特別支援教育コーディネーターが機能する中学校の特別支援教育ネットワークの構築
- ・ 通級指導教室における発達障害をもつ児童の指導
- ・ 通常の学級の児童と自閉症・情緒障害特別支援学級の児童が共に活躍できる交流及び共同学習の取り組み
- ・ 知的障害と肢体不自由を併せ持つ子どもと教師の個別指導場面における相互変容
- ・ 知的障害特別支援学校高等部における生徒と教師の省察に着目した授業づくり



# 幼児教育

## 分野の概略

幼児教育分野では、子ども理解に基づく支援や指導の背景にある理論の探究とともに、子ども、保護者を取り巻く激しく変化する社会の実態や課題(幼児教育・保育政策、幼児教育の多様性、乳幼児の権利保障・擁護、子どもを取り巻く文化、保護者を取り巻く環境、学校種間の接続、ESDなど)に焦点を当て、課題解決に向けた実践的指導力を身につけることを目指しています。

## 教員と専門分野

石川真佐江	幼児音楽
石原 剛志	児童福祉・教育福祉
田宮 縁	幼児教育学・ESD
若林 紀乃	幼児心理学・発達心理学

## 主な授業科目

幼児教育の現状と課題  
 乳幼児音楽概論  
 乳幼児の権利と幼児教育・保育  
 幼児教育課程とESD  
 乳幼児期の保育と音楽教育  
 子どもの育ちと文化

## 探究テーマ例

- ・ 子どもの放課後と学童保育
- ・ 乳幼児期の音楽的発達、保育における音環境
- ・ 地域の実態に応じたスタートカリキュラムモデルの開発
- ・ SDGsウエディングケーキモデルに基づいた教材開発
- ・ 社会性の発達と保育





# 養護教育

## 分野の概略

養護教育分野は、現代的な教育に不可欠な課題への対応に必要な学校保健、安全・防災教育、学校環境など多岐にわたる分野と連動させながら資質を育成・向上することを目的としています。そのためには、発達段階に応じた子ども理解に基づく保健教育、保健管理等を遂行する児童生徒指導、支援力が必要となります。特に、これらの問題解決に欠かせない基礎的かつ専門的な資質であり、反省的思考、創造的思考を、それぞれの問題解決を通して高めるよう、カリキュラムを設定しています。高度化実習では、研究成果が実際の実習校での養護実践と連動し、理論と実践の往還を図ることも企図しています。

学校保健領域の変遷や学校保健に関する先行研究を踏まえ、課題を分析する視点や方法について探求します。具体的には、保健管理や学校環境衛生、保健教育や食育、安全教育、性教育等に関する文献調査および調査結果を踏まえ、学校保健の変遷に関する歴史的な背景や現状についても考察します。

## 教員と専門分野

鈴江 毅	学校保健学・精神保健学・予防医学
鎌塚 優子	健康教育学・危機管理学・養護実践学 健康相談学・学校保健学
矢野 潔子	学校看護学・学校保健学

## 主な授業科目

学校保健の現状と課題  
学校における危機管理  
養護教諭の教育実践の実際と課題  
養護教諭の行うアセスメント方法と課題  
病気の子どもの理解と養護教諭の対応  
養護教諭が行う健康教育の実際と課題  
健康相談の実際と課題

## 探究テーマ例

- ・ 小学校・中学校における保健教育の教材の開発
- ・ 養護教諭の行う学校における危機管理の実際
- ・ 学校環境における人間関係がメンタルヘルスに及ぼす研究
- ・ 児童生徒のアセスメント方法の再検討
- ・ 養護教諭の行う健康教育の課題



# 現代的教育課題

## 分野の概略

ESD、国際理解教育、ICTの活用、リスク社会での安全など、今後の持続可能な社会創出に向けて欠かせない困難な現代の諸課題への対応や多様性を増す学校教育に必要な資質を育成・向上します。特に、SDGs達成に欠かせない基礎的な資質であり21世紀を生きる次世代に欠かせない資質である反省的思考、創造的思考を、それぞれの問題解決を通して高めるよう、カリキュラムを設定し、現代の課題への高い対応力を持った教員養成を目指しています。また、高度化実習では、課題研究のテーマに関連した授業実践なども含めて、理論と実践の往還による資質向上を目指します。

## 教員と専門分野

村越 真	認知心理学・危機管理
池田 恵子	社会地理学
ヤマモト・ルシア・エミコ	社会心理学
宇都宮裕章	日本語教育・教育言語学
藤井 基貴	教育哲学・道徳教育
中村美智太郎	教育人間学・倫理学・道徳教育
塩田 真吾	情報教育・教育工学

## 主な授業科目

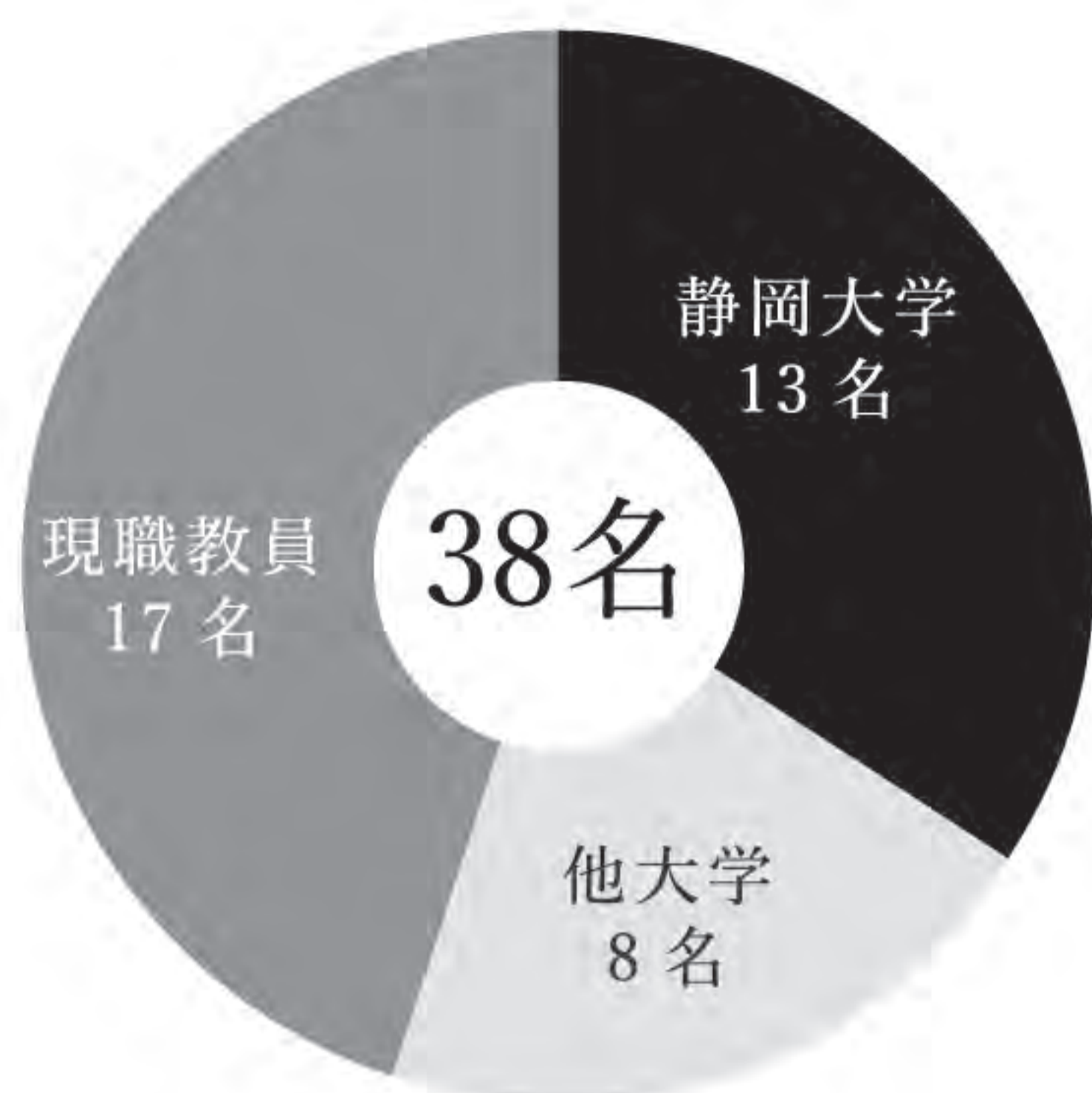
現代的教育課題への道標  
 リフレクティブ・シンキング演習  
 クリエイティブ・シンキング演習  
 国際理解教育  
 対話的な学びと言語活動  
 学校における危機管理

## 探究テーマ例

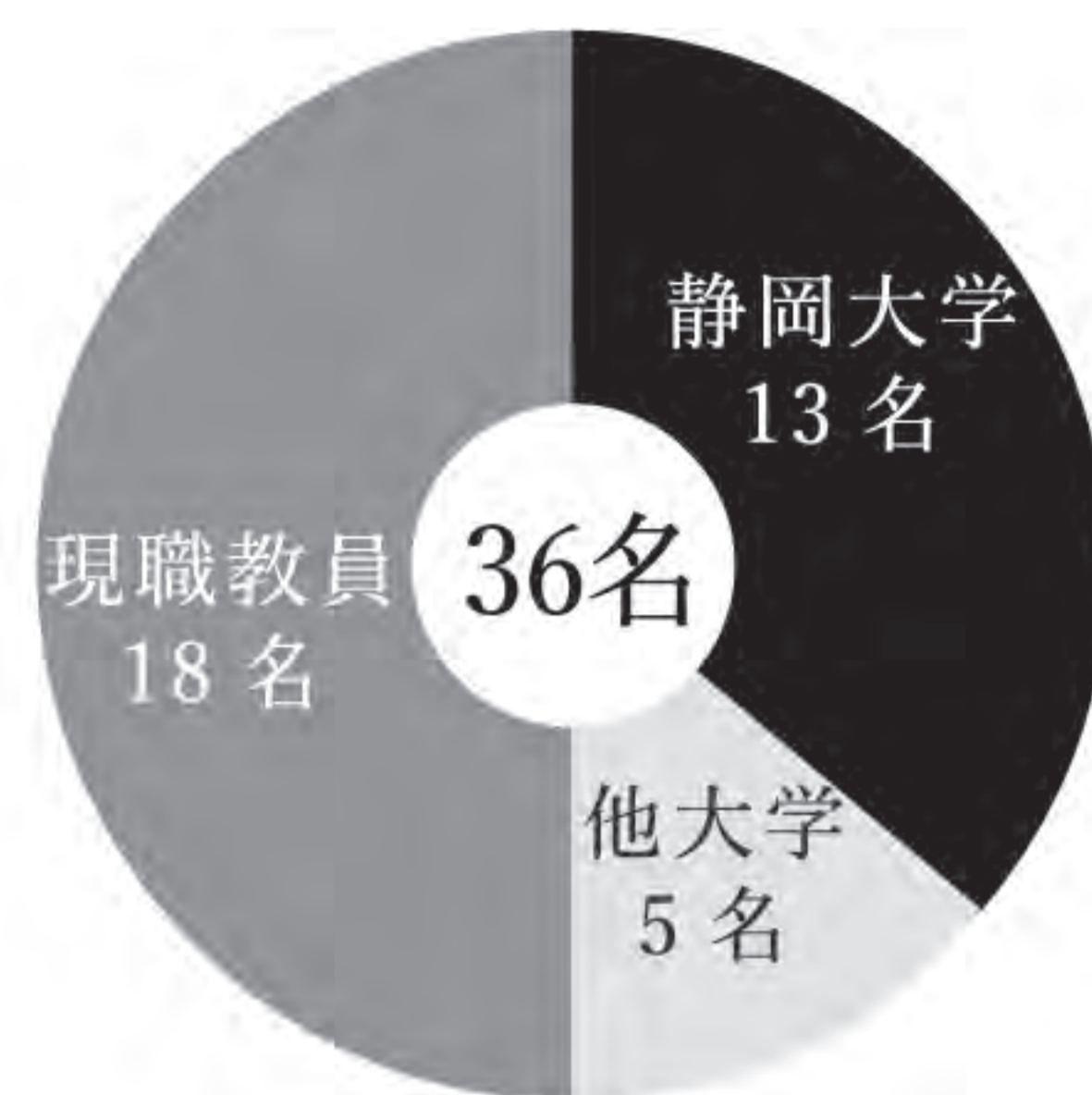
- ・学校におけるリスクコミュニケーションの在り方と課題
- ・学校におけるマイノリティーを巡る諸課題
- ・ジレンマ解決を軸とした道徳教育
- ・学校教育における国際理解教育の実践
- ・学校における居場所づくりと深い学びについての課題



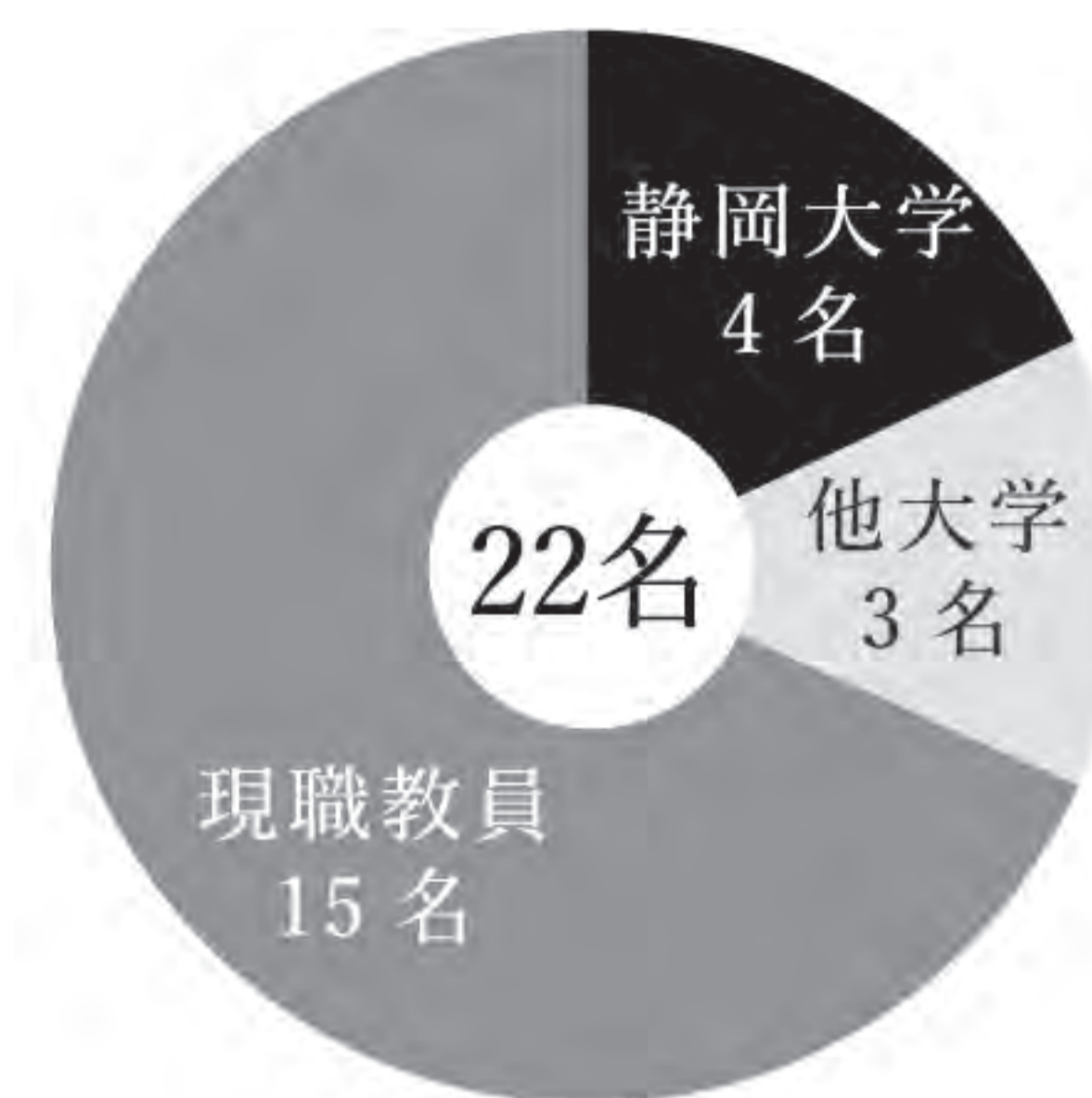
## 入学者の内訳



令和3年度



令和2年度



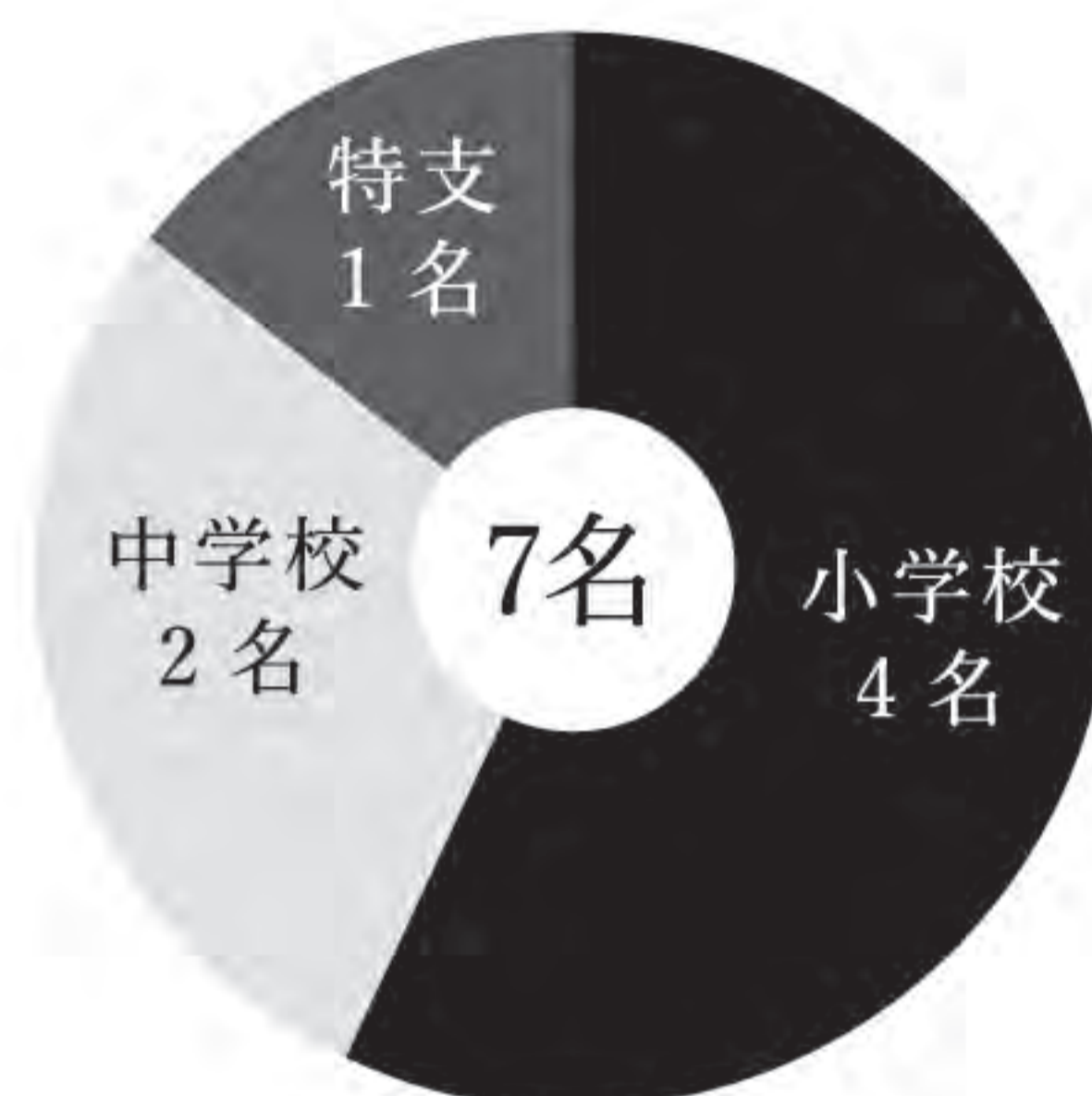
令和元年度

## 修了後の進路状況

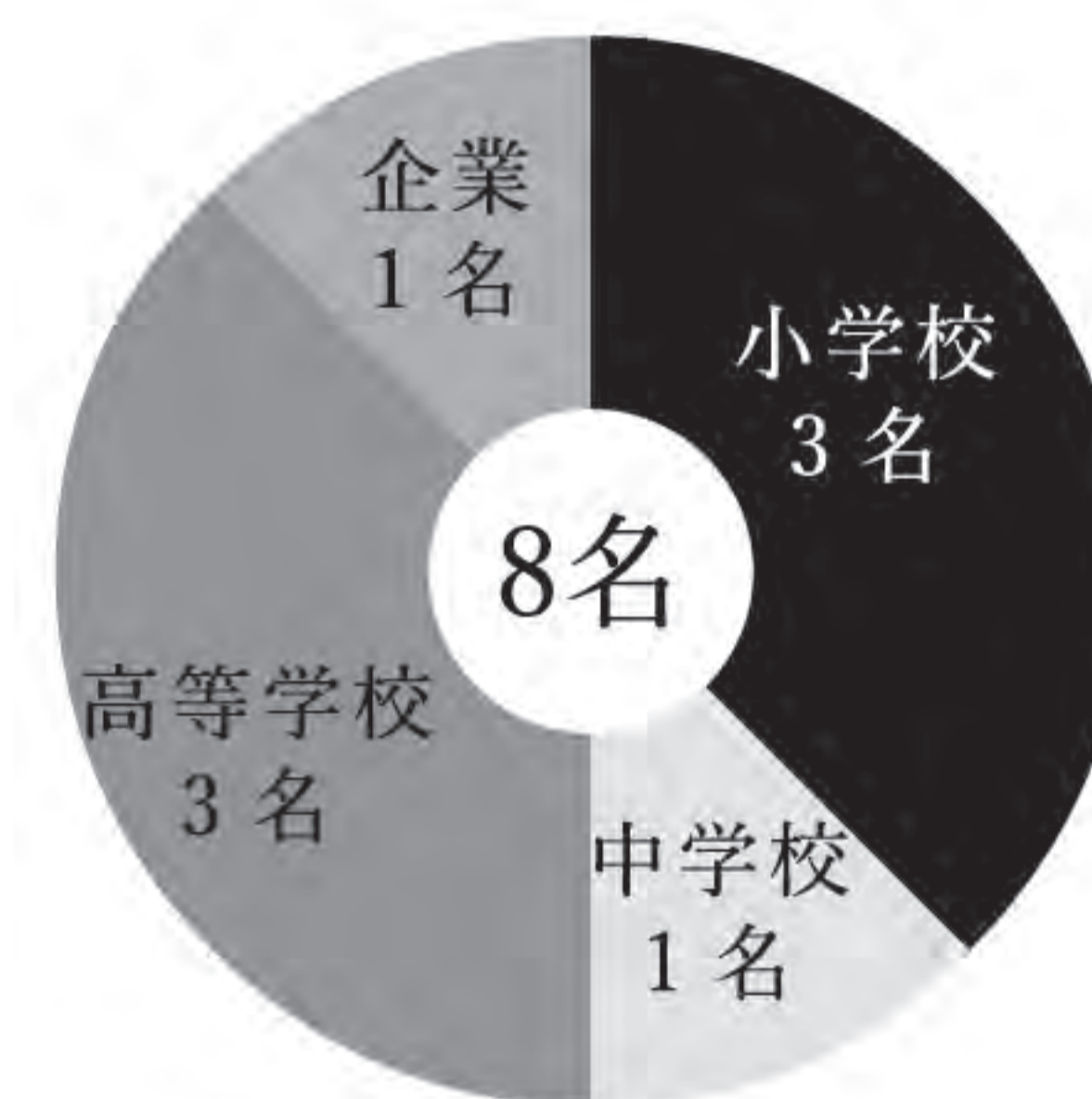
(現職教員入学者を除く)



令和2年度



令和元年度



平成30年度



# MAP

## 交通機関

JR静岡駅北口のしずてつジャストラインバス8番Bのりばから美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」(静岡大学経由)行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」(静岡大学経由)行きに乗りし「静岡大学」又は「静大片山」で下車。  
 美和大谷線「東大谷」(静岡大学を經由しないもの)行きに乗りした場合は、「片山」で下車。(所要時間25分、1時間に5~7本運行)



# CAMPUS

